

2003（平成15）年度
日本生態学会北海道地区大会

プログラム

会場：苫小牧駒沢大学
（苫小牧市錦岡521番地293）

日時：2004年2月21日（土曜日）

2004年2月 苫小牧

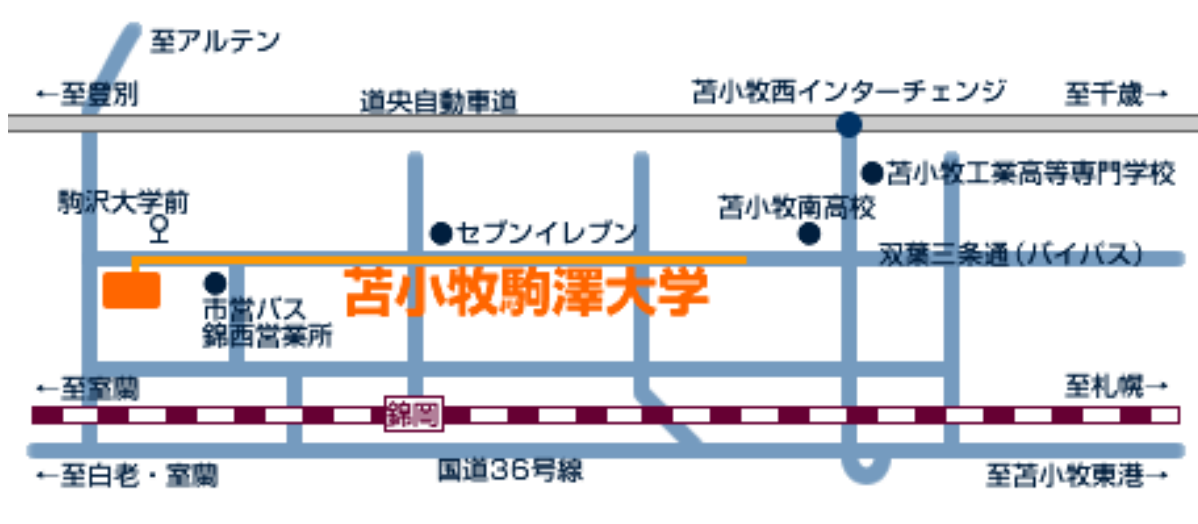
大会実行委員長 日浦 勉

2003（平成15）年度
日本生態学会北海道地区大会

プログラム

会場：苫小牧駒沢大学（苫小牧市錦岡521番地293）

日時：2004年2月21日（土曜日）



- | | |
|-------------|--------------------|
| 9:30 | 受付開始 |
| 9:50 | 地区会長挨拶 |
| 10:00-12:00 | 若手研究発表会 |
| 12:00-13:00 | 昼休み、地区役員会 |
| 13:00-15:40 | 若手研究発表会 |
| 15:40-16:00 | 休憩 |
| 16:00-17:15 | 一般講演 |
| 講演終了後 | 総会（講演会場と同じ場所） |
| 18:00～ | 駒沢大学ミーティングルームにて懇親会 |

交通案内（地図を参照）

J R 苫小牧駅北口から市営バス「駒沢大学前」行（所要時間35分）

J R 錦岡駅から市営バス「駒沢大学前」行（所要時間8分）

注意

受付 9時30分より受付を行います。当日の参加申し込みも受け付けますので、申し込みをされていない方もふるってご参加ください。

受付において参加費（500円）と懇親会費（一般2500円、学生1500円）をお受けします。

原則として会場においては会員の皆様には当冊子を再配布しませんので、この冊子を当日お持ちください。当日参加の非会員の方にのみ配布します。プログラムが発送されなかった会員は受付にお申し出ください。

講演 スライド・OHP・液晶プロジェクターを利用した講演ができるよう準備を進めています。

講演でスライドを使用される方は、発表30分前までに受付にお申し付けください。OHPの操作を係に依頼される場合は発表直前に会場係に直接ご指示願います。

発表に液晶プロジェクターを利用希望の方は、ファイルをCD-ROMまたはUSBメモリーチップに保存しお持ちください。午前中に発表の方は9：40までに、午後若手発表会は12：40までに、一般講演の方は15：40までに担当者（日浦、村上）にお持ちください。スライド及びOHP使用希望の方は同時刻に担当者にお持ちください。

一般講演 発表時間は、発表12分、質疑応答2分30秒の合計14分30秒を基準とします。

10分、12分、14分30秒にベルを鳴らします。時間を厳守するようお願いいたします。座長は直前の講演者とします。

若手研究者 発表時間は、発表15分、質疑応答4分30秒の合計19分30秒を基準とします。

発表会

13分、15分、19分30秒にベルを鳴らします。時間を厳守するようお願いいたします。

発表優秀者には、「若手賞」を贈る予定です。選考は、座長及び選考委員（2名）によって行う予定です。パフォーマンスなども選考対象とする予定です。

懇親会 懇親会は12時まで当日参加を受け付けますので、奮ってご参加ください。会費一般2500円、学生1500円で「駒沢短期大学会議室」にて行います。

プログラム

(講演要旨集は当日会場にて配布します。)

9:50 地区会長挨拶

若手研究発表会

- 10:00 同所的に生息するアライグマとタヌキの資源利用特性の比較
岡部史恵 (北大苫小牧研究林)
- 10:20 エゾリスの毛の採取法と DNA 抽出法の比較検討
石井亮次・東典子・三好和貴*・東正剛 (北大地球環境科学研究科)
- 10:40 在来サケ科魚類と外来サケ科魚類の種間競争— 干渉型競争によるハビタットシフト—
長谷川功・前川光司 (北大北方生物圏フィールド科学センター)
- 11:00 温帯林ミズナラの樹上甲虫類: その群集形成機構
三宅立晃 (北大低温科学研究所)
- 11:20 エゾシカにおける餌資源の個体群間比較
上野真由美¹・高橋裕史²・西村千穂¹・梶光一²・斉藤隆¹ (¹北大北方生物圏フィールド科学センター・²北海道環境科学研究センター)
- 11:40 長寿命淡水産二枚貝カワシンジュガイの年齢と成長の決定法の検討
秋山吉寛・岩熊敏夫 (北大地球環境科学研究科)
- 12:00 昼食 (当日朝、弁当の注文をお受けします。開会までに担当者 (村上) にご注文下さい)
この時間帯に地区役員会を行います

若手研究発表会 (つづき)

- 13:00 広域分布を示すオニクマムシの耐乾燥性と耐低温性
堀川大樹・片桐千帆・東正剛 (北大地球環境科学研究科)
- 13:20 Life history parameters of two predatory stoneflies, *Kaminuria tibialis* (Perlidae) and *Skwala pusilla* (Perlodidae), in relation to environmental factors
大槻章子・岩熊敏夫 (北大地球環境科学研究科)
- 13:40 サロベツ湿原における泥炭採掘跡地の植生回復
西村愛子 (北大地球環境科学研究科)
- 14:00 土壌・朽木中における変形菌変形体捕食者群集とその生態学的意義
村山茂樹 (北大低温科学研究所)
- 14:20 AFLP 法によるハマナス群落の遺伝構造解析
得能秀幸・東典子・城所碧・東正剛 (北大地球環境科学研究科)
- 14:40 生息地の分断化が絶滅危惧樹木クロビイタヤの繁殖成功と遺伝的多様性に与える影響
堀田万祐子・田中健太・日浦勉 (北大苫小牧研究林)・永光輝義 (森林総合研究所)
- 15:00 根萌芽を行うシウリザクラ *Prunus ssiiori* の個葉特性変異と食害パターン
大澤剛士 (北大地球環境科学研究科)
- 15:20 シウリザクラの雌雄繁殖成功とクローン構造
森洋佑 (北大地球環境科学研究科)

15:40 休憩

一般講演

- 16:00 モデルの生態学- 適応的フレームワークによるモデルの解釈と運用
大場真・高橋英紀（北大地球環境科学研究科）
- 16:15 ウライの上流ではサケのホッチャレは河川生産に寄与しないか
伊藤富子¹・草野晴美²・中島美由紀¹・下田和孝³（¹北海道立水産孵化場・²東京動物園協会・³稚内水産試験場）
- 16:30 中央カリマンタンの湿原群落の分布と水文化学環境
矢部和夫（札幌市立高等専門学校）・中村隆俊（北大北方生物圏フィールド科学センター）
- 16:45 北海道南西部ニセコ鏡沼付近における植生変遷
萩原法子（札幌第一高校）・星野フサ（北大総合博物館）金川和人（由仁商業高校）・日下哉（江差高校）
- 17:00 カンザワハダニの休眠誘起における寄生種の効果
伊藤桂・斉藤裕（北大農学部動物生態）
- 17:15 終了

総会（講演終了後直ちに始めます）

司会（地区会長 神田房行）

会長挨拶

予定議題等 本年度活動報告

会計報告

本大会について

来年度地区大会について

その他

17:30 大学内ミーティングルームにて懇親会（若手賞授賞式を含む）